

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●皐月賞はジオグリフが優勝

4月17日(日)に行われた皐月賞(G I)では、ジオグリフ(牡3歳/美浦・木村哲也厩舎)が同厩舎のイクイノックスを1馬身差2着に下して優勝、G I初制覇を果たしました。同一調教師の管理馬によるワンツーフイニッシュは2017年(池江泰寿調教師/1着アルアイン・2着ベルシアンナイト)以来5年ぶりで、皐月賞史上4回目のこととなります。

●中山グランドジャンプはオジュウチョウサンが6度目の優勝

4月16日(土)に行われた中山グランドジャンプ(J・G I)ではオジュウチョウサン(牡11歳/美浦・和田正一郎厩舎)が6度目の優勝を果たし、自身が持つ同レース最多勝記録およびJRA同一重賞最多勝記録を更新しました。中山大障害の3勝と合わせてJ・G Iは9勝目、JRA障害重賞レースは7年連続勝利・通算15勝目となり、これらも自身の持つJRA記録を更新しています。

●石神深一騎手がJRA障害通算1000回騎乗を達成

4月16日(土)に行われた中山グランドジャンプ(J・G I)で、オジュウチョウサンに騎乗した石神深一騎手(美浦・フリー)は、史上16人目・現役8人目となるJRA障害通算1000回騎乗を達成しました。

●木村哲也調教師がJRA通算300勝を達成

4月17日(日)の3回中山8日・第12レースとして行われたサンシャインSではパラダイスリーフが1着となり、同馬を管理する木村哲也調教師(美浦)は、現役67人目となるJRA通算300勝(延べ2294頭目)を達成しました。

●セダブリランテス、グリムの競走馬登録抹消

2018年日刊スポーツ賞中山金杯(G III)などの勝ち馬セダブリランテス(牡8歳/美浦・手塚貴久厩舎/JRA通算11戦5勝)は、4月7日(木)付で競走馬登録を抹消されました。今後は北海道苫小牧市のノーザンホースパークで乗馬となる予定です。2018年レパードS(G III)などの勝ち馬グリム(牡7歳/栗東・野中賢二厩舎/JRA通算10戦4勝・地方7戦4勝)は、4月13日(水)付で競走馬登録を抹消されました。今後は地方競馬に移籍する予定ですが、移籍先は未定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●シャマルが東京スプリント(大井)で重賞初制覇

東京スプリント(Jpn III、4月20日、大井、1200m)は、3～4番手を追走した4番人気のシャマル(川須栄彦騎手、牡4歳、父スマートファルコン)が、先に先頭に立った1番人気の昨年の覇者リュウユキナをゴール寸前でハナ差捉え、重賞初挑戦で初制覇。サクセスエナジーは5着、ヒロシゲゴールドは6着、3番人気のピンシヤンは8着に敗れています。

●菊水賞(園田)はベルレフォーン【各地の主要3歳重賞】

兵庫三冠の第一関門、菊水賞(4月7日、園田、1700m)は、中団から直線大外を通して伸びた3番人気のベルレフォーン(牡、父ヘニーヒューズ)が残り100mを切った辺りで差し切り勝ち。パウチェイサーは好位から一旦先頭も粘り切れず3着に敗れ、単勝1.2倍の圧倒的支持に応えることができませんでした。クラウンC(4月6日、川崎、1600m)は、3～4番手を進んだ5番人気のフレールフィージュ(牡、父エスポワールシチー)がゴール前で逃げ馬を交わし、初の重賞勝ちを果たしました。新緑賞(4月7日、笠松、1600m)は、先手を取った単勝1.7倍で断然人気の愛知所属馬リンクスターツ(牡、父ディスクリートキャット)が逃げ切って重賞初制覇。ル・プランタン賞(4月10日、佐賀、1800m、牝馬)は、序盤後方から徐々に位置取りを上げた1番人気の川崎からの遠征馬ケウ(父ラニ)が、3コーナー過ぎに先頭に立って押し切っています。
※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●木村和士騎手がカナダの最優秀騎手に選出

カナダ競馬の年度表彰であるソヴリン賞が現地時間4月14日に発表され、2021年のカナダ最優秀騎手に木村和士騎手(22歳)が選出されました。木村騎手は2018年と19年に2年続けてカナダ最優秀見習騎手に選ばれ、19年にはアメリカのエクリプス賞でも最優秀見習騎手に選出。昨年は、カナダを代表するウッドバイン競馬場で2位に54勝もの差をつける138勝(内、重賞3勝)をあげて、同競馬場のリーディングタイトルを獲得していました。

●G1メーカーズマークマイルS～シャルズスパイトが差し切る

4月15日に米国ケンタッキー州のキーンランド競馬場で行われたG1メーカーズマークマイルS(4歳上、芝1600m)はL.サエス騎手が手綱をとったシャルズスパイト(牡5歳、父スペイツタウン、R.アトフィールド厩舎)が後方2番手追走から直線で鋭く伸びると、アイルランドからの移籍初戦となったメイセンをハナ差交わして優勝。今年1月の一般戦(芝1700m)、2月のG3タンパベイS(芝1700m)に続く3連勝でG1初制覇を果たしました。